

令和2年（2020年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和2年6月12日（金）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	上原 快佐 (ニライ) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 平和行政について 2 緊急時における行政機能の維持について 3 交通行政について 4 工芸振興について	(1) 慰霊の日における本市の対応について伺う (2) 慰霊の日の時報について伺う (1) 新型コロナ対策における職員体制について伺う (2) 第2波・第3波に向けての方針について伺う (1) 市内バス路線の現状について伺う (2) 公共交通におけるバスの役割について伺う (1) 新型コロナの影響について伺う (2) 沖縄県との連携について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>古堅 茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 道路行政について</p> <p>2 浸水対策について</p> <p>3 新型コロナ禍について</p>	<p>(1) 市立大名児童館の駐車場に接している市道平良大名線へ歩行空間を設置する時期と概要を問う</p> <p>(2) 市役所前の歩道にある街路樹と植栽樹との段差について問う</p> <p>(3) 市道鳥堀石嶺線の車道は雨水が溜まる箇所が多く、通行する車両が歩道の歩行者に溜まった雨水をはねる被害が続出している。対応を問う</p> <p>首里石嶺町4丁目地区の浸水被害軽減雨水貯留施設建設事業の進捗状況について問う</p> <p>(1) 読売新聞社が5～7日に実施した全国世論調査で、新型コロナウイルスの感染が再び拡大する「第2波」への不安を感じる人は、91%にも達している 日本共産党は、4日に「医療・検査の抜本強化、くらしと営業を守り抜くために一感染抑止と経済・社会活動の再開を一体にすすめるための提言」を発表 緊急事態宣言は解除されたなかで、経済・社会活動の再開は、感染抑止をしながら、段階的にすすめていかなければならない。感染拡大を抑止するための医療と検査の体制を抜本的に強化して、安心して経済・社会活動の再開に取り組めるようにすることと、“自粛と一体の補償を”の立場で、大打撃を受けているくらしと営業を支えることを一体にすすめることが強く求められている。見解と本市の取組を問う</p>

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) “自粛と一体の補償を”という、大きな国民の声が政治を動かし、一律10万円給付、雇用調整助成金の上限額引き上げ、家賃支援などで、一連の前進が勝ちとられたが、なお改善すべき問題点が残されている</p> <p>最大の問題は、緊急事態宣言での「休業・自粛要請」に応えた事業者への助成や給付が、2カ月に及ぶ緊急事態宣言が解除された段階になっても、多くの人に届いていない。支援が現場に届くのが決定的に遅く、失業や倒産・廃業が増え続けている。政府の「新しい生活様式」のよびかけとは「新しい自粛要請」であり、大きなダメージを受けている中小企業、個人事業主、フリーランスで働く人たちに、新しい自粛要請による“経営難”が加わる。緊急事態宣言の解除や休業要請の「解除・緩和」を理由に、必要な支援を1回限りにしたり、打ち切ることは許されない。見解を問う</p> <p>(3) 日本の人口当たりPCR検査数は、諸外国に比べてけた違いに少ない（韓国は日本の8倍、米国は14倍、欧州諸国は20～30倍）。日本医師会の「有識者会議」は、PCR検査が進まなかった「最大の理由」は国から「財源が全く投下されていないこと」だと指摘している。発熱などの強い症状がある人だけを対象としてきた、これまでのやり方と発想を根本から転換して、受動的検査から積極的な検査戦略に転換し、経済・社会活動再開のもとでの感染拡大を抑止する。そのために、感染が疑われる人、ごく軽症を含む有症者とすべての濃厚接触者を速やかに検査する。医療、介護・福祉従事者と入院患者・入所者への検査を積極的に行う。感染の広がりを把握する抗体検査を広く行うことなど、感染流行の「第2波」に備え、医療と検査体制を抜本的に強化することが求められている。見解について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(4) 玉城デニー県政は、新型コロナウイルスが存在する「ウィズ・コロナ」の環境下で、当面の経済回復を目指していく必要があるとして、経済対策を緊急対策から4段階のフェーズ毎の対策に移行させていく「新型コロナウイルス感染症対策に係る沖縄県の経済対策基本方針」を策定している。疫学的立場からの判断を基に、コロナシフトによる経済活動の再開のための環境を整え、第2、第3の感染流行の波を見据えたイノベーションによる強靱な経済構造へ転換するコロナチェンジの経済政策を展開する内容となっている。そして、経済再開の前提となる新型コロナウイルス感染症流行の第二の波に備えた防疫フロンティア・沖縄としての「安全・安心の島・沖縄モデル」について基本方向を示している。その概要と本市の取組を問う</p> <p>(5) 国の2020年度第2次補正には、国民の声と野党の論戦に押され、一定の支援策が盛り込まれたが、国民の暮らしや医療などの現場が求める水準とはかけ離れている</p> <p>家賃補助は5月以降の売り上げ減少しか対象にせず、学生支援給付金の対象も全学生の1割だけ。PCR検査体制についても、1日20万件にするために3000億円が必要だとする18道県知事の提言に対し、同予算案では366億円にすぎない。全国80のコロナ患者受け入れ病院は年間5000億円の赤字で、その他の病院も受診抑制により9割以上が収入減になっている。「政府の支援不足が生む経営危機により医療崩壊が起こることなどあってはならない。減収補填のための財政支援を抜本的に拡充すべきである。また、10兆円の予備費は憲法が定める財政民主主義の大原則を侵すものである。国の第2次補正についての見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(6) 新型コロナウイルスの感染拡大で休業を余儀なくされた中小業者・個人事業主に支給される持続化給付金をめぐり、政府の事務事業のあり方が大問題になっている。広告業界最大手の電通などが設立した一般社団法人サービスデザイン推進協議会が国から委託を受け、協議会は電通に再委託し、さらに電通は子会社5社に外注し、巨額の差額を手にかけていた。事業を“丸投げ”し、税金を分け合う構図である。生きるか死ぬかの必死の思いで頑張る事業者を救うための制度を、経済産業省自ら利権化し、一部企業の食い物にするなど断じて許されない。見解を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>野原 嘉孝 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 防災行政について</p> <p>2 建築行政について</p> <p>3 道路行政について</p> <p>4 環境行政について</p>	<p>ここ数年、大雨警報や洪水警報等を発令するような降雨が頻繁に見られる。その発生状況及び防災行政無線による危険回避の注意呼びかけなどについて以下何う</p> <p>(1) 近年の大雨の発生及び被害の状況</p> <p>(2) 防災行政無線の設置及び運用の状況</p> <p>(3) 古島の安謝川流域における大雨時の冠水状況と対策</p> <p>(1) 風致地区における開発行為や建築確認など申請手続きの概要について何う</p> <p>(2) 首里末吉町の風致地区においてマンション建設が進行中だが、本計画に対する地域住民の不安解消と意見調整について当局の関わりを何う</p> <p>久茂地9号の改修計画について地域住民から車道幅員の一定確保等について陳情が出ているが、合意形成に向けた対応について何う</p> <p>真嘉比遊水地の上池付近に不法投棄のゴミが大量に見られた。先日、回収されたが同地域におけるゴミ投棄の実態について何う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	宮平 のり子 (ニライ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 平和行政について 2 特別定額給付金について 3 コロナ禍における放課後児童クラブについて 4 放課後児童クラブについて	那覇市内の戦争遺跡数と文化財指定の現状と課題について (1) 給付状況について (2) 社会的にコミュニケーションの取りにくいひとり暮らしの高齢者、障がい者、認知症、ひきこもりの市民への対応について (1) 利用料の返還について (2) 感染者が出て閉所した場合、人件費の補助について (3) 休業措置などの場合、児童同士の「3密」を避けるために、学校施設、体育館、グラウンドなどの利用について (1) 利用料軽減事業の拡充について (2) 那覇市放課後健全育成事業補助基準額について (3) 那覇市放課後支援員キャリアアップ処遇改善事業について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	平良 識子 (ニライ) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 文化財行政について 3 平和行政について	<p>コロナ禍による臨時休業で特に高校受検を控える中学3年生における学習影響と、入試内容、または入試時期に新型コロナウイルスの再流行が起きた際のシナリオとその対応について、どう検討がなされているのか伺う</p> <p>那覇市歴史博物館で所蔵展示する国宝「琉球国王尚家関係資料」について、首里城周辺における文化財の現地保存活用および商業施設における国宝保存の安全性の課題の観点から、復元予定の中城御殿敷地内へ、収蔵庫およびギャラリー施設を含めて総合的に整備し、国宝の保存活用を図ることを提案する。見解を伺う</p> <p>沖縄戦の実相を運命づけた首里城地下の第32軍司令部壕を負の遺産として文化財指定し、保存し、平和活用すべきである。見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	大嶺 亮二 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 地域の安全・安心について 2 首里城再建について 3 子ども行政について	(1) 老朽化が進む仲井真小学校前歩道橋の現状と、これまでの安全対策について伺う (2) 今後の安全対策としての予算や改修工事の予定があるか伺う 首里城再建に役立ててほしいと、多くの方々からの寄附金があったと認識しているが以下伺う (1) これまでの寄附金の総額を伺う (2) その寄附金は今後、どのように活用されるのか伺う (1) 麻しん風しん混合 (MR) ワクチンについて以下伺う ① 定期接種と任意接種について伺う ② 定期予防接種の対象者数と年代別接種実績を伺う (2) 在宅学習支援事業 (新型コロナ関連) について事業内容を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和2年6月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>奥間 亮 (自民党)</p> <p>【質問方式】 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 第32軍司令部壕跡について</p> <p>2 那覇市保健所職員への支援について</p> <p>3 教育行政について</p> <p>4 住宅確保要配慮者への支援について</p> <p>5 保育行政について</p> <p>6 沖縄振興及び経済産業について</p>	<p>首里城の地下にある第32軍司令部壕跡の遺骨収集・保存、公開を、那覇市からも声をあげるべきである。見解を問う</p> <p>新型コロナウイルス禍をうけて、那覇市保健所の職員への支援について、考えられる支援策を全て挙げて頂きたい。また、そのうち那覇市が実施予定の支援は何か</p> <p>令和元年度第1回那覇市総合教育会議の成果と、その成果を踏まえた今後の取組について</p> <p>那覇市も市営住宅の入居条件から連帯保証人確保の要件を外すべきである。見解を問う</p> <p>先日の我が会派の代表質問の続きとして「保育所等におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援について(新型コロナウイルス感染症対策)」に関し、那覇市が「購入されても満額補助できるか分かりません」と園に説明していることは適当なのか否か、どちらなのか。端的に答弁を求める</p> <p>沖縄は「ザル経済」だという指摘があるが、これを解決する方法は何か、那覇市の見解を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、関係部長</p>